第192号　1909. 8. 20.

明治四十二年八月二十日　（金曜日）　第百九十二號（一）　日曜及祭日の翌日休刊　（月刊）　明治十一年十二月三十日第三種郵便物認可

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●絶海の樂天地（一）

（對陵島民の生活）

漁業權の事に就き島民を代表して上京せる片岡同島郵便所長の談話に依り日本海中の一孤島對陵島狀態の一を知り得たれば左に之を記るさん

島中に於ける物產は往時はケヤキ、モチ等の木材を主とし日人の集る者亦木材伐採の爲めなりしが卅二年當政府が同島木材採伐權を得たればとの理由の下に元山領事より邦人の立退を命ぜられたるも交通不便なる孤島の事とて取締り付かず追へば隨て集り來るの有樣なりしが現在の定住者は邦人六百七十人にして出漁者は舊六月より八月頃迄にて一旦引返し更に電報にて秋漁の都合を聞き集り來る韓人は七千餘もあり島賊漁最も盛んにして同漁期となれば日韓人の老若男女總出の有樣にて夕刻より朝にかけ其捕獲に從事す

氣候は京城邊と大差なけれど雪多し生活は極めて呑氣にして交通は皆帆船に依るが故に風工合惡しき時は半ケ年位便船なきことわり半歲前の回向院の勝負に打ち興ずる程なれば以て一斑を知るべく同民は概して淳朴、賣春婦なく賭博なく盜賊なければ夜も戸を鎖さず居民少くして他と交通稀なれば全島自ら一家の觀をなし患難相救ひ新來者には打寄りて便宜を計り遣るなど和氣靄然たるものなり唯何等の娯樂機關もなき爲め飲酒の癖は忽ち增長し易く酒量一二合のものも直ちに一升位の酒豪となるは受合なり（續く）

●蒜の効用に就て

風土か食物か又未知の原因に由るか明かならざるも韓國には他邦に比し十二指腸患者及結核病患者少きは特異の現象なるがかの韓人が蒜を常用する如きは大に之等病毒を防遏する効あるに非るか曾て故樫村博士が蒜エキスの効力大なるを唱へしを考ふれば自ら一貫せる理由なしといふべからずと

●登記證明と金融影響

從來登記證明の澁滯に就き長きは半年以上も要し短きも二ケ月を超ると雖からず從ふて請願者の迷惑は言語同斷にして既に此程も商業會議所を通じ迅速取扱方を其筋に要求せしとの事なるが今其の內容を聞くに漢城府に於ても事務繁劇なるが上人員不足にて殆ど寸際も有せざる底の有樣にて實際の調査と民意に副はす從ふて理事廳に於ても急遽證明の要求に應ずるは至難との事なれども實際請願者の苦衷は殆ど想像の他にして爲めに證明請求中他の債權者より差押にて遲ひ若しくは貸借約束の返濟期限を通ち越したる曉に證明手續の了し得らるゝ等の滯積なるともありとよ

第廿九席　桃川燕玉演

中山大納言

すると此今野定右衛門と云ふのが頑固野蠻な仁で、何の京都の青公卿霍と只馬鹿にしきつて居るから　定「ナニ松平壹岐守殿御通行の道筋、先刻から此方聲を掛けるに、其方に於て道を避けざるのみならず、何だ無禮な事を申す、何の爲に目を光らして居る耳を二つ附けて置くとは何だ、兎や角申す其儀ならば勘辨罷成らぬ」と言つたら御公卿樣の供をして居る青侍だから、黙いて狐鼠々々と逃げるだらうと思ふ、所が其威嚇は些つとも利かない、眞影流の大先生池西太宮「ナニ、彼れ此れ申すと打放す、イヤ不屆な事を申す奴汝のやうな犬士に斬らるゝやうな者は一人もない、斬れるものなら斬つて見ろ大白痴奴　今「此奴不屆な事を申す奴　池「朝廷の御家臣中山大納言殿から預つて置く箱根の關は詰り一天萬乘の君御要害として甚だ無禮を働く御立腹の段重々恐入り奉りまい、早々預からつしやい　番「ヘイ　池「ヘイ　番「ハイ　池「是は松平壹岐守家御關所當番　番「ハイ　池「是は松平壹岐守家來、以の外不都合な奴ゆへ取押へたが、今度關東下向の御道筋である、故に歸洛致すまで當關所に預けるから確と預つて置かつないと」と大勢の眞正中に跳り込んだが、手玉に取つて、ポッタ〳〵投げ飛ばす、強いの強よくないの、壹岐守の御家來東西へ叩き散らされ、這々の体で一散に逃げて しまふ、斯んな強い御公卿に出會したのは 始めて だ、今野定右衛門の鰻尻取つて引立つて來て、鑑て箱根の御關所へ乘込み　池「御關所當番　番「ハイ　池「是は松平壹岐守家來、以の外不都合な奴ゆへ取押へたが、今度關東下向の御道筋である、故に歸洛致すまで當關所に預けるから確と預つて置かつないと」　番「ハイ　池「左樣さ、預からなかつたら何を言ひ出すか知れない、仕方がないから預つて置く嗅しく言のは畢竟是を攫みたいから喧しく言のだ、何より是が一番効驗が有と袂へ抛り込んだ、之を出せばナニ直ぐ助けて呉れる 番「ハイ　池「但し年齡四十五歲　番「ヘイ　池「色黑く鼻低く、髯多く衣類は小紋紬天右衛門と云ふ金を池西太宮の袂へポカリと抛り込んだ、之を出せばナニ直ぐ助けて呉れる　番「ハイ　池「身共の袂へ何だ是は　番「ハイ……　池「金だ、何と思ふ　番「高橋甚五右衛門と申します　池「身共の袂へ何だ是は　番「ハイ……　池「金だ、何と思ふと池西太宮「コレ、貴公は何と言つしやる

(二)（月曜日及祭日の翌日休刊）　東京城新報　明治四十二年八月二十日（金曜日）　第百九十二號

▲爾半衿帶上帶締其他紐類各種新荷着夏物大安賣　京城明治町一丁目　㊫ 高島屋商店

京城新報

本年の農作

二百十日を經過せざる今日に於ては本年農作の豐凶は素より豫言する能はざるは勿論也、頃者東亞の報する所に依れば韓國の米作は現下の狀態にては平年以上なりと云ふ、初夏に於ける霖雨に今此快報に接する所より見れば、初夏の霖雨は左程の害を與へざりしのみならず、其の後の照込によりて平年作以上を豫想するに至りしは甚だ以て喜ぶべき事なりとす、而して清國農作も豫想するに南清地方の或一部を除くの外は先づ以て平作たることを豫想する得べし、印度に至りては本年は殊に氣候順當にして頗る豐作なりと、東洋に於ける重なる米作國の概況斯の如し

顧て韓國本年の米作如何と顧れば余輩は遺憾ながら平年作を豫想する能はず、初夏の候に於ては旱魃甚だしく農民の痛心一方ならず、爲に韓皇深く憂慮せられて詔勅の晩發となれりき、然るに其後雨霈頻にあり、溜れば欲くる世態に漏れず降雨連續して多きに過ぎ、是が爲に河川は氾濫し稻田は恰も河海の如くなれる所尠少ならず、平安南道の成川江東南郡の如きは其害殊に甚だしく人畜の溺死さへ多く、流失家屋は千餘に及び、浸水覆砂田畑二千五百町歩に達せりと云ふ、是に依りて見るも如何に水害の多大なりしかを知るに足らむ、其他慶尙江原咸鏡等の水害を擧げ來れば被害の高は頗る甚大なるべし加之頃者夜盜蟲發生し被害甚だしとの報道來る、韓國の米作現狀は斯の如くなれば前途如何に良好に經過するも到底平年作を見る能はざるは今より豫言するに憚らざる也。

韓國本年の雨量は作物に對し決して多きに過ぎたりとは云ふ可らず、寡ろ順當の雨霈と云はざる可らず、然るに平年作を見る能はざるは全く河川荒廢して氾濫せるが爲也、若し夫れ河川を修築して堤防を堅確にせば此水害は受けざる也、天は順當に雨を降せりと雖も、人間の設備完からざる爲に之を善受する能はざりし也、農者が粒々辛苦して培養し來れる稻甫は順當なる降雨の爲に流出すると云ふに至りては實際忍ぶ可らざる也、之を思へば韓國に於て最も急速に施設すべきは河川の修築水利の便なりと云ふ之を爲さゞるが爲に農作なるべきものを凶作とするに至る、如何に天の惠みあるも之を受くるの設備をなさゞれば惠みに與かるを得ず、農政の局に當り居るものは何事を措きても先づ以て河川の修理をなさゞる可らず、農本位を以て建てる所の韓國にして農作振はずとせば何を以てか能く立國の礎を造らむ、要するに河川の修理をなし水利の便を計るは韓國開發の最速急務也、是れ何人も知る平凡なる言議なれども眞の緊急問題たる也。

北京電報

▲駐清公使の會見

伊集院公使は十八日清國外務部と二回の會見を遂げ義する所ありたり（十九日）

▲鐵道と米國出資

尊漢鐵道借款を六百万磅とし其中川漢鐵道の半額を米國にて引受くるに決せり（同上）

東京電報

▲陸軍將校滿韓派出

陸軍兵器廠長少將押上森藏同廠員砲兵少佐尾貫徹の兩氏滿洲及韓國に派遣せられたり（十九日發）

▲荒伯爵の逝去

故北白川宮殿下第五子二荒義之伯御年（廿一）腎臟炎にて昨夜逝去せらる（十九日發）

▲渡米實業團の出發

渡米實業家一行五十二名今朝新橋を發し午後三時橫濱解纜のミネソタ號にて萬歲艦裡に出發せり見送人無量數千人（十九日）

▲韓皇太子の旅程

韓太子は本日山形に入られ同地に一泊さる（十九日）

▲韓儲近況御尋問

我皇后陛下、皇太子殿下には電報を以て韓太子の近況を御尋ありり韓太子より鄭重なる返電ありたり（同上）

雜報

●間島の現狀に就て

（篠田軍務官の直話）

統監府臨時間島派出所事務官總務課長篠田治策氏は間島問題に付其筋へ報告の爲め一昨日入京したるが本社員は三日月旅館に同氏を訪ひ間島問題に付大樣左の如き直話を得たり

△目下間島に在る清韓人の比較は

四十年九月調　四十二年六月調　比較增減

韓人　七、〇三三　八二、九九九　五、九六六

清人　三三、四五六　二七、三二〇　三、九二六

日本人　一〇〇、四九九　一一〇、三四〇　九、八二八

日本人は二百四五十人（但し官憲及其家族を除く）

あり又我憲兵は新に增派されたるものを合して合計二百名なるか從來は東間島の內東部の十ケ所に配置したるも增派の結果數ケ所を增すに至れり又間島に於ける支那兵は約三千五百人位と思はる之れに對して日本兵は一人も備へ居らず韓人の巡査は四十名にして我憲兵二百名を以て彼れの式的行動に對抗し居ることなるが併かも新聞紙に傳唱する如き危險の狀勢あらず尤も新興地に於て先般一寸衝突したりと雖も深き原因のありしものに非ず元來間島は東間島、西間島の二つに別れ東間島を更に東西部に區別し居りて今日迄の我國か手を着け居る方面は主として東間島の內東部にして東間島の東部は千三十方里、西部は五百二十方里合計千五、六百方里なるか我國四國の面積千百五十一方里あるに比して十分の六强に居るの割合なり而して領土權の問題に付ては別に承知せざるも北京に於て國際上の問題を別とし普通臣法上より勝敗の如何を決せんとして證據を提出するものとしたらは慥に勝利を得らるゝべし云々（京通報）

●慶尙北道の洪水

十四日午前一時より十六日午後三時に至る大降雨にて河水氾濫し十五日より大邱永川間、安東大邱間、東萊蔚山間交通杜絕したるも十七日より開通し又永川慶州間の警備電話不通となりたるも應急修繕を加へ開通せしめたりと

●韓人の會社設立出願

新協約實施後韓人より會社設立を願出でたるものは無慮百數十件の多きに達せるも元來韓國には未だ會社法の規定なきを以て之が許可に就ては豫め其內容及事業の目論見計畫書を實地に調査したる上ならざるべからず故に實地に調査すれば驚くべし何等の定見なく唯だ漠然官の許可を受くれば一種の特權を獲得するものゝ如く思惟し之を以て第二者に對抗せんと欲するものなれば一として取るに足らず實に幼稚極まる計畫なれば全然許可を與へ難きものゝみなる由

●新設裁判所組織內容

確かなる筋より聞く所に依れば司法權委任に伴ふ新設裁判所は統監の管理に屬する筈にて裁判所の組織は區裁判所に於て單獨制を採用し地方裁判所及控訴院は各三人高等法院は大審院の職務を執行するべく五人の合議制にて區裁判所の上告審は高等法院に屬することに決定したる由なるが各裁判所の檢事局は統監の指揮監督を受くる筈也と

●地方の倉庫數と現狀

農工銀行設立前地方農民の金融の爲め光武九年十月以來各地に政府より倉庫を設立し金融資金の一部を以て主として動產擔保の貸付をなしつゝありしが農銀の整備と共に其貸出しを停止し其後は專ら貸金を回收し之を以て各地に倉庫を增設し政府監督の下に農銀其他に無料貸付をなし來りしが目下該地方倉庫所在地は九箇所にして棟數十六棟坪九〇一坪五なりと

●清津鏡城間道路改修

清津鏡城間の道路を單に軍事上のみならず經濟上及行政上に於ても之が改修工事は目下の急務なるに依り該經費を治道費中に編入して總額七萬五千圓を二ケ年間に支出すべく既定治道費の中より支出すべき額の筈に於ては來年度に於ては四萬五千圓明年度に三万圓合計七万五千圓を既定治道費より繰合せ撥き出る上にて後日處分を爲す筈なりと云ふ

●法權施行後適用法律

日本政府が法權執行後適用すべき法律に就て慎重なる研究を遂げ今次統監府に於て確定したる所を聞くに韓國人に對して韓國法を以て韓國人と韓國人にあらざる者との間に起りたる民事事件に就ては日本法規を適用し韓國人に對して裁判の執行を爲す時は韓國法律に據る筈なりと云ふ

●度量衡器販賣の擴張

度量衡の販賣は漸次好況なるも既定豫算には一部の地方を限り販賣するに止まり全般に渉らざるを以て今回更に之れに要する費用を支出し必要の度量衡を益々製造し既て委託販賣を爲さしむる筈にて豫備金より一萬六千九百三十七圓を支出する筈なりと

●白銅貨の回收と訓令

度支部次官は各財務監督局に向ひ左の趣旨の訓令を發する筈なりと

各地よりの報告に依れば舊白銅貨は尙多額の流通あるにも拘らず回收額は近來著しく減少し一ケ月の回收總額僅かに四万餘圓に過ぎざるに依り今日の趨勢を持續する時は到底期限內に交換を了する能はざるを以て此際一層各農工銀行及び金融組合を督勵し出張交換其他適當の方法を採らしむべし云々

●司法廳新設內議決定

豫て報導したる司法廳新設の內議は愈々之を採用することに決定したる由にて同廳は統監の管理に屬し司法監獄の事務を掌る筈なるが長官一人、參事五人、理事五人、通譯及錄事等の職員を以て組織すべしと云ふ

●地方行政と官衙位置

地方官衙は行政上の便宜を謀るべく從來韓國地方官衙は大抵僻遠の山間に偏在せるもの多きものなれば僻遠の山間に於ては將來之を移轉すべき計畫を立て罰年度の豫算に計上する筈なるが其經費の大部分は地方費より支出すべしと

●京都府下と韓海通漁

京都府にては韓海出漁將勵の目的を以て丹後沿海に於ける水產組合をして漁船を製造せしめ之に對し新造一隻五百圓既成維持費一隻二百五十圓を三十六年度より降年々補助し郡も亦此趣旨に依り相當補助金を交付しつゝありといふ

●司法權の執行と監獄

我が政府に於て司法權の執行後監獄事務に關して司法大臣の爲すべき職務は統監に屬する筈にて韓人に對する死刑執行は韓國の祭祖日に刑の執行を爲さゞる等特に明記しありと云ふ

●內部の豫算編製材料

內部に於ては來年度の豫算編製材料の參考に對して其の蒐集方に付各道に向け夫々通牒を發したりと云ふ

一進會にては去る十一進會の記念式

李容九氏の挨拶に次で漢城府民會長俞吉濬氏及京城居留民團民團長熊谷賴太郎氏の演說あり互に胸襟を開きて祝酬を爲し音樂隊の奏樂、妓生の酒間を周旋する等鄭重の饗應ありたる後餘興の催しあり頗る盛會なりしと云ふ

●內部の豫算編製材料

各道豫算の下調　各道觀察使は各地方に於ける來年度豫算に付き目下下調中なるが完了の上は內部に提出する筈なりと

地方費と豫算案　本年三月發布されたる地方費法の豫算は本月中に發布する筈

叙任辭令　永濱關稅總長の補任は八月十七日を以て左の如く發表されたり

關稅總長　永濱　盛三

依願免本官　司稅局長　鈴木穆

命關稅總長事務取扱

●豆滿流域の石炭

豆滿江流域なる咸鏡北道會寧、慶源、慶興等舊市街に沿ひたる朝日川を浚渫し少量の運搬及要水の利用を爲すべき計畫ありといふ

●清羅間の道路竣成期

既報清津羅南間の道路は速成工事なれば約二ケ月にて完成せしむる筈にて十月末には全部工事を終るべしと

●慶北の水害と農作物

慶尙北道延日郡見上邊增水の爲め沿岸の被害樣狀を極め之が爲め農作物は平年より約三割の減收なりと云ふ

●日韓瓦斯の引繼終了

韓美電氣會社と日韓瓦斯會社との引繼は二三日前全部滯なく終了せりと

●存置すべき一銀支店

韓銀成立後第一銀行の存置すべき支店は京城、仁川、元山の三箇所なるべしと

●大久保司令官の視察

大久保軍司令官は足立高級副官を隨へ來月五日當地發北韓巡視の途に上るべし

●宇佐川東拓總裁東上

韓銀創立委員宇佐川一正氏は韓及白の韓人側委員と共に十九日上京せり

●一進會員の渡日

一進會評議員韓景源氏は杉山茂丸氏に對する顧問嘱還狀及同會改正規則草案等を携へ十九日渡日したり

●曾禰統監の病狀

曾禰統監の病氣は近來頓に快方に向ひ邸內の散歩位には耐る由

●萩田書記官歸任

萩田書記官歸朝中の處一昨夜歸任したりと

●篠田事務官入京

篠田事務官は昨夜入京三日月館へ投宿せり

●統監府書記官萩田悅

統監府書記官萩田悅三氏は歸朝中の處一昨夜歸任したりと

●藤村事務官入京

藤村事務官の同氏は昨夜入京三日月館へ投宿せり

●慶國武官の出發

慶國武官は西部慶國正教會堂に潛在中のレーナムサル氏は十七日歸國す

●佐竹秘書官全快

佐竹秘書官は過般來病氣引籠中なりし同秘書官は全快の上十九日より出勤す

●井上書記官歸京

井上書記官は渡日中なりし井上雅二氏は今二十日夕南大門驛着にて歸京の筈

●統監府會計課長

統監府會計課長萩田枕書記官は

●韓妓の檢梅

韓妓の檢梅は一昨日驛行せられたるが慶尙四十七名の中、仁川花開洞韓妓の檢梅は

●害虫驅除勵行

全羅長老派宣教師の集會

平安北道に於ては夜盜蟲、螟蟲子等の害蟲

●韓銀に對する一般人氣

近く設立さるべき中央銀行に對し一般商界の希望は云ふ迄もなく良好にして其云ふ處によれば同時本國に引上げらるべき第一銀行も京城及釜山の二支店は存置され從前の通り營業を繼續するとのことなれば一つの優勢なる一大金融機關を更に增加したる次第となり從て第一銀行と共に直接に將た間接に金融界に貢獻さるゝ多かるべし併し第一銀行にては韓銀に對する引繼に關して目下夫れ〳〵準備中なるが何分にも時々刻々活動せる事務の事故愈々引繼當座に切迫せずんば確定する能はず尤も不動產に對しては既に調査完結し居れり而して引繼上最も困難なる位置金にして一々本人の承諾を求めざるべからず又貸出に於ても登記手續に於て兩者各々所屬法を異にするを以て頗る面倒なるべしと云ふ

●一銀の引繼準備

第一銀行にては韓銀に對する引繼に關して目下夫れ〳〵準備中なるが何分にも時々刻々活動せる事務の事故愈々引繼當座に切迫せずんば確定する能はず尤も不動產に對しては既に調査完結し居れり而して引繼上最も困難なる位置金にして一々本人の承諾を求めざるべからず又貸出に於ても登記手續に於て兩者各々所屬法を異にするを以て頗る面倒なるべしと云ふ

●韓銀に對する一般人氣

近く設立さるべき中央銀行に對し一般商界の希望は云ふ迄もなく良好にして其云ふ處によれば同時本國に引上げらるべき第一銀行も京城及釜山の二支店は存置され從前の通り營業を繼續するとのことなれば一つの優勢なる一大金融機關を更に增加したる次第となり從て第一銀行と共に直接に將た間接に金融界に貢獻さるゝ多かるべし併し

韓國銀行は固より普通民立銀行とは自から

●ベッセルの遺族

ベッセルの遺族は南大門富業院に轉居せしが本月末歸國する筈

●倉富次官の出發

十九日朝出發したり

●兒玉書記官上京

昨日朝列車にて東上

●神宮奉敬會改稱

神宮敬奉會と改ひ

●取消

本月十九日附貴社發行の京城新報に「尊管居留地問題」と題して掲載したる記事は事實相違の廉有之候に付此全文を掲け御取消相成度此段申入候也明治四十二年八月十九日統監秘書官印京城新報社御中

公、人、私、人

▲曾田嘉伊智（青年會敎師）十八日入京す

▲野呂德一（間島派出所屬）同三日月旅館

▲藤村源太郎（咸興裁判所檢事）同山本旅館

▲島田樣藏（韓鐵業株式會社員）同巴城館

▲鶴田政太（關東都督府技手）同上

▲谷口小二郎　十九日出發東上す

近事片々

▲統監　更迭後日尙は淺きが爲に何等の發展を見ざるは是非もなし併し前途甚氣遣る

▲聞く　統監には今尙は恙全く癒へずと大責任を負ふて病床にある程苦痛はなからむ

▲斯る　時に補佐の任にあるものに好個の人物を得たき心地ぞする現在に其人ありや

▲見渡す　限り何れも鈍栗の皆兵にあらざるか多士濟々とはホンノ世人の御世辭のみ

▲石塚　君を始め岡本內小宮其他の參與官連は何れも一騎千金然れども背適役に非ず

▲思ひ　切て統監に進言し平生の抱負を實行する熱烈なる人物は實際一人も見受けず

▲統監　政治の面目を一新するには是非此際遂僚の更迭を必要となす是ぞ先決問題也

▲警視　廳內に總監非總監派の暗鬪ありと噂せらる果して事實ならば甚だ忌はしき事

▲今の　時代は保護政治の初期なり今より邦人同志の軌轍等すら可らずヨボに笑はるぞ

▲水產　局は水產學校を設ての計畫ありと云ふ韓國人には此種の學校は最も必要とす

▲豆滿　江岸に石炭坑あり品質劣等なるも普通燃料に適し吉林琿春地方に需用多し

▲北韓　開拓北滿との交通を開くに於て好箇の材料北韓鐵道布設の曉は一の良財源也

▲邦人　に咸鏡海の明太魚漁を出願以て經營せんとする者あり之を是れ甚だ喜ぶべき也

▲明太　魚は韓國人の必需品其消費高も甚多し邦人の經營に移らば其漁獲高倍加せむ

▲日本　は昨年に比して豐かならんとは不幸中の幸

▲韓國　亦平年作ならむ清國南部は不作の模樣なるも越て印度は近年稀の豐作なりと

▲東歐　亦事起る例のクリート島問題に就て希土間の風雲急希臘は出兵の覺悟迄なす

▲露國　此際此時ダーダネルス海峽通過問題を亦も提出せりと果して甘く行くべきか

▲精神　に異狀なきかを疑はる竹楊閑話は亦も少々狂はれたか併し京城には巢鳥なし

▲貴婦　人社會の墮落は實際看過す可らず

▲統監府會計課長不在中其代理を命ぜらる

荷も道義の念あるもの最早默す可らざる也

日刊（月曜及祭日翌日休刊）　明治四十二年八月二十日　京城新聞社　（命曜日）　第百九十二號　（三）

●貴婦人の墮落（其三）

▲天下の大通曾禰統監

▲京城日報の不心得

▲破倫……破德……の奬勵

▲おやゐの方　が副統監公式の園遊會へ秋田の妾れかねを招きたることは當時統監府部内にも大に物議を起したる次第なるが詮議立てすれば却て世の笑を大ならしめんと掛りの人々は憤慨しながらも途に其儘打捨られたるなり

▲妾同士　世に境遇を同ふするものの互に同情を持ちて交際も親密となるは自然の數なるがれやゐの方とれかねの方とは何方も同じく部屋商賣の互に身の上に就て越方行末を語合ひ親身の姉妹の如く何一つ打明けて相談せずと云ふことなくれ互に力になり合ましようと堅く契りたる間柄なり

▲妾の利用　れかねの旦那は世に云ふ運動屋にて何かな近して奇利を博せんと思ひ居る矢先自分の妾がれやゐの方と姉妹も及ばぬ親密なる間柄なるを知りたるを以て之幸風強どたかねに音物を持たせては殆んど毎日の如く大和町の副統監邸に行かしめたやゐの方の歡心を買はしめ時によりては自分も同道して副統監邸に入込み御部屋樣が花見の會を開かるれば自分もれかねも夫に加はり二日も三日も邸内に起臥して只管られ部屋樣の御機嫌取りに勉たり

▲世間の噂　當時世間にては副統監邸に毎夜花見の會開かれ主人子爵が催主の如く傳へられたれともそは全くの誤報にして花の會主は實はれ部屋のれやゐの方にて相手は秋田の妾を筆頭とし大抵は何とか彼とか八ケ間敷き片書を有して婦人社會の口位を高めんことに常に奔走せらるゝ所謂貴婦人方なりしなり

▲妾の行狀　副統監曾禰子爵閣下が急の召命に接し五月十七日を以て京上の途に就かるゝやれやゐの方は昨日に到る自由の身となり秋田の妾や貴婦人達を相手の花見許りにては興湧しとなし茲に鬼の留守に洗濯を爲さんものと密かに出入の某女に頼みて或夜某女と二人連れ暗に紛れて壽町は壽座當時開演中なりし田宮一座の壯劇見物にと出掛けたり

▲何人なるか　子供七人持つとも女に氣は許すなとの古諺我を欺かず、さてもれやゐの方は素と曾禰家仲働の身にして何の間違ひか子爵閣下のれ情を受け子爵夫人の寛大なるに甘んじて永年子爵に仕ふる身にてありながら壽座へ行きたる其夜は已に約束ありしものと見なして年若き帽子眼深に冠りたる一人の男と同席しいとも睦しげに又樂しげに低聲にて物語りを續け無臺の方は少しも顧みざりし斯て後れやゐの方は芝居出し前に彼の若き男と何か囁き合ひて劇場を出られたるが其の行先は何處なりしかれ部屋樣の命の洗濯とは實にこんなものなり

●水泥棒の亂暴　龍山本町三丁目水行商人山本義八（三）は十八日午後五時頃十五間道路の某韓人家屋に差し蒐りたる際水が飲みたくなりしか商賣ものゝ氷は他人に賣れば金になる少しは溢くても並の水にて我慢すべしと其の韓人家屋に至り水を一杯飲むして呉れと云ひしにアンデエーと拒まれたるに立腹し素直に呉れねば腕づくで飲んで行くと無法にも奥庭に闖入し四斗樽に湛へられたる清水を强かに呼り付けたるはなぜたしも汚れたる手を其の儘に樽の中にてジャブ〳〵と行らかしたれば可程被保護國の韓人なりとて默まつては居ず一言二言其の無法を責めたるにぞ義八は何生意氣なと云ひも敢へず拳を固めて散々に毆打したる騒ぎに附近の日本人達が見るに見兼ねて夫れと訴へ出でたるより警官出張直ちに警察署へ引致し一夜留置されたる上十九日朝大目玉を食らさはれて放還せられたる頃は荷箱の氷塊は溶けて終つて殘るは濕つた鋸屑計り此樣てとなら氷を飲んで溢くのだつけ、とは氣の付き方が遲い〳〵

●圖々しき呑助　當地若草町車修繕業池田松次郎（三）及大野大吉（三）は一昨十八日午後十時頃旭町一丁目第一二三番戸料理店大福樓事久保とら方に登樓し飽腹飲んだ末いざ四圓四十六錢の勘定となり兩人共無一文ゴタ〳〵の末翌午前一時迄仕沸猶豫を申込み置附近の辻車にて何れへか立去り朝に至るも何の音沙汰もなければ大福樓より捜索方其筋へ願ひ出でたるに前記兩名は同家を出ると其儘新町南山樓に押し上り前山（三）と申すものなるが只今永樂町一丁目同樓八圓二十九錢の遊興費を請求せられに實は無一文なればとて池田を殘し置き大野は金策に出掛けし儘歸り來らずとは呑氣な奴等と云ふべし

●强姦されて自殺　仁川警察署に一昨日午後二時頃年老ひたる一人の韓女出頭して涙を流しながらに訴へて曰く妾は最愛の娘と寡砂附近に居住するものなるが昨夜一人の韓人家内に闖入し來り逃け迷ふ娘を捕へ無法にも强姦し何れにか妾を匿したるが娘はかゝる恥辱を受けては生くるも詮なしと思ひ毒を仰ぎて目下悶絶し居れりと訴へ右の男に途中仁川にて遇ひたりとのことに直ぐ韓刑事を同行せしめ其眞偽を確めんと出張したりと

●都々逸天狗　魚遊藝妓「貴郎如何遊ばしたの、开麼な顔をなさつてさ、恰で鳩が豆銃砲を喰つた樣に眼ばかりパチ〳〵させてよ、何を考へて居らつしやるですか」れ客「ナニ今度京城日報社で寫真集の懸賞都々逸に投書して一等賞を占めれ前に三ヶ月分無代で新聞を讀せて遣ろうと思ふてさ」藝妓「ソー有難い事ねシテ何なのか出來ましたか」れ客「出來たとも古今無類の傑作、而も課題の砧と虫を一とつに讀込んだ腕前は豪からう、マア讀んで拜聽し玉へ斯う謂ふのだ、

虫と砧の都々逸投して
無代で新聞三月分

●日日社の演藝會　朝鮮日日新聞社は昨十九日午前六時仁川支社の主催に係る大阪大火慈善演劇會は新浜田宮貞雄一座に依つて昨日より五日間の豫定にて同地歌舞伎座に開會せしが非常に好景氣なりと

●日日社の演藝會　朝鮮日日新聞社は昨十九日午前六時仁川支社の主催に係る大阪大火慈善演劇會は新浜田宮貞雄一座に依つて昨日より五日間の豫定にて同地歌舞伎座に開會せしが非常に好景氣なりと

●蕊を放つて撲ちる　昨十九日午前六時頃一人の韓人が私は南署十里中里居住趙興皇商工部建築場にて日本人より疝部を毆打されましたとて訴へ出でたるに付警官出張取調べたる處前記趙は同場内に放棄したる南大門通り三丁目請負業岸本末美（三）が見附け不都合なりとて毆打せしものと知れ說諭せられて引下る

●スリチビで只飲み　岡山縣奥郡牛文村七一番地當時龍山十五間道路二丁目田川鐵工場職工藤原清藏（六）及和歌山縣奥上郡利木田村二七〇番地當時龍山元町四丁目裏居住鍛冶職井上清太郎（三）この兩名は十八日午後十一時四十分頃南部小公洞酒商劉召史方にて六十錢餘の酒を飲みしも無一文にて之を拂はず劉より訴へらる

●下女と而して瓜　龍山桃山町日曜樓の下女平川みゝ（三）は十八日午前十一時頃支那人の野菜賣と言葉の行き違ひより喧嘩を初め姫御前の身のあられもなく支那人の瓜數個を踏み潰したるにぞ支那人敢て讓歩せず警察署へ駈け込んで交渉顚末を發表したるより相當代價を辨償せしめらる

●拾得二件　仁川本町三丁目居住高禮勇なるもの一昨日午後十時頃本町秋田商店角にて二十三圓記入の十八銀行の貯金通帳寄届出づ又本町三丁目木村傳三郎は一昨日午前六時本町三丁目にて金六圓を拾得し直に仁川署に届出たり

●學員大募集廣告●　特許新發明三効式測量法教授（發明者自ヲ教授ス）　米國ドンフォマシー　土木工師　山崎園藏　●壹ケ月卒業●卒業ノ上ハ免狀ヲ授與ス　本校從學卒業生ハ諸官衙ニ就職ノ途ヲ與フ（詳細ハ本校ニ來談スベシ）　京城黃金町農商工部側通　私立　山崎土木建築實修學校

▲韓國に在る日本青年は一つも着實な考へを持つて居るものはない實に慨嘆の至りだ（は）の字君なぞは別だらうが全く以て情ないよ（〳〵の字）▲今年位の孕み女の多い年はない樣だ見る女〳〵皆孕んでる第一吾輩の妹迄が孕んでる（東江）▲孕ませた人は判つてるのですか町内氏子中は恐れるよ（小僧）▲義役割は愛澤の伊屋剛三、篠崎の勝少佐、角村の室中將、西井のれ宮、河野の新音、松村の門田、桂木の櫓取、美崎の布良抔最も妙ならん（劇在）▲支那町の月の家と云ふ料理店程朝の掃除に念を入れる家も稀れだ家樣へは振はないが感心なことだ（通行人）▲度支部の門に掲出せられた電話番號に同一番號が二つある由ち五百三十五番が夫れだ間違ひちやこのせんか（車夫）▲龍山停車場の圖を表したる繪葉書にて申來されたる仁丶龍山の相撲につき料理店云々の投書本社に未着なり通告す（係）▲十六日の夕刻太平町の八重吹と吉田屋の白首が四五人連れにて入浴の歸りを同町二葉の賣春婦が三四人して義二階の欄干の所に待ち受け下を通る彼等に向ひ口を極め惡言を吐き掛けたる所此方も猿者黙つては居す負けずに云ひ返しての醜聲怒罵亞に淫賣呼ばゝりを爲し一時は中々は舌戰烈しく上と下と咆哮する態容は實に近來の見ものであつた恰も彼等は眼養の醜き女を鼻養が嘲笑ふに等し咄濟度し難き餓鬼奴等哉（太平洞人）▲電車の横つ腹にはまだ韓美電氣會社とある（阿鼎亭宵の蚊）▲丸京では又例の手で正札より三割引きだとサ、呉服と云ふものは太した儲けがあると見ゐる、三割引いてさへ未だ飯を食ふだけの利益は有るのだらう、若し利益がなければ生て居られる道理がない（手古奈）▲へへへれ素人方にはは判りになりますまい其所が商賣？でさ（小僧）

●配達出拂　午後六時四十分

▲EDP品質精良且廉價にして御進物に最適當なる高尚優美の士耳古・埃及金口莫及葉卷各種（百本入七十五錢以上）大安賣御試み給へ見本無代　本町二丁目直輸入商　日希商會

●天氣豫報（自十九日午後六時至二十日午後六時）　晴れ但驟雨　最高溫度 八二、八　最低溫度 七〇、三　（華氏）

廣告

中元大賣出し

大上商店　本町五丁目　電話二二五一

醬油特約一手販賣

品目
和洋酒、ビール、シャンピンサイダー、炭酸水素麵、最上鰹節、特撰奈良漬種々、赤白砂糖、宇治銘茶種々、罐詰、乾物、其他食料雜貨種々

各種とも御進物用にして至極優美にしつらゑ候
便利商品切手も調製仕候間多少に不拘御注文の程奉希上候
尚御注文次第遠近を問はず迅速持參可致候

暑中御見舞客各位　清水席　松一笑政太郎奴彌吉葉

電話開通　九〇六番　京城壽町三丁目　清水席

自轉車大空賞　角商會代理店　前川自轉車店　京城南大門横

旅館　客室は清潔にして完全食事は御好みにより和洋何れにても調進萬事御便利に御扱ひ可申候
西洋料理　食堂は大小の數室あり御人數の多きに拘はらず迅速調理御用に應じ可申候
京城南山町三丁目（元日本人倶樂部）　京城ホテル　長電話一二三番　電話四九二番

滋養品の服用期は今日なり

人體之肥料　暑中の牛乳は特更に腐敗し安くして危險なり

次亞燐　次亞燐を持藥として服用せば夏復せず夏負けの憂ひなく衰弱を防ぎ元氣旺盛なり　大滋養劑

効牛乳の數倍

債權讓受けたし　貸付金、賣掛代金、其他一般の債權を現金にて讓受け申候に付き讓渡し希望の方は御申込み被下度候　京城長谷川町一丁目　坂本兵太郎事務所（電話千百十四番）

各種洗濯石鹼
専門製用
陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋
道、散髪、諸工業用
京城旭町二丁目
（電話九七三番）
朝日石鹼製造所

▲無料紹介欄▼

人秀部

●英文代書　通譯歷屈　本町一の七五中村

●被雇度　年十九市内に確實に紹介有稼語に通ず不問職業被雇たし　氏名在社（四一三）

●傳話通譯　會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし　氏名在社（四一二）

●望家庭教師　某美術學校卒業生廿三歳市内相當の家に被雇たし　氏名在社（四一四）

●下女入用　年齢三十歳より四十歳迄にして身体壯健なる者至急入用但し月給八圓　氏名在社（四一七）

賣藥行商人數名募集　希望者は本人直接來談あれ　明治町三の一五七　水田藥房

●被雇たし　年十八身体强健高等小學校卒業新聞又は牛乳配達に雇はれたし　旭町一の二八二　中村

物件部

●賣地　南大門より停車場に至る右側表通六十坪の賣地あり　氏名在社（四一〇）

●貸家　若草町一にて混雜二間續一間燈敷二間押込炊事場安編付にて井戸の設置あり家賃十二圓若草町一の一二九矢島（四一九）

●貸家　南山町二丁目辻屋花園附近至極眺めよき新築家屋電話附の儘家賃三十圓位希望者は下名へ御申込あれ　本町二丁目辻屋

本町七丁目通にて飯倉店遊作付のまゝ至急格安に譲渡したし　姓名在社（四一三）

廣告

島村醫學博士
有効証明
神經腦病頭痛
全治最良藥
健腦丸
東京商會
醫學博士島村先生
有効証明
恐るべき腦充血
今日水
いかなるはいたでもいまなをらはぐすり
元祖　本家　醫學博士島村先生
本舗　東京芝區琴平町　丹平商會本店
取次販賣すべし
藥價　小瓶七錢　中瓶十五錢　大瓶二十五錢
清潔の下宿
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路（元花屋跡）　かめ屋
懇切の下宿
眼科專門
京城本町一丁目憲兵分遣所前
醫學得業士　江頭富雄
前漢城病院眼科部長
江頭眼科醫院（電話三二三）
京城本町五丁目（電話四七番）
京城東四軒町（電話七五番）
販賣元　仁川松尾支店
搾取所　松尾牧場
熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
辯護士　岡田榮
京城旭町一丁目六十七番戸
（電話三九八番）
荒物世帶道具一切
大坂製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣
荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜アサヒ麥酒
並に買次業
地方在住の各位に注御申越あり次第代金引替郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇電略ニカ又はニ
振替貯金口座東京（九四一七番）
●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す　弊場夙に此に留意し好良の食料を給す
●弊場搾取の牛乳を愛飲せられ諸氏は最も滋養物富且味佳良の牛乳を飲用し得るべし
軍旅必携
MORITA'S HÔTAN.
明治十年此營柳寵戰軍用之命也
大學東校免許
守田治兵衛
寶丹
代理店
新井藥房本店
新井藥房第一分店
新井藥房第二分店
（京城南大門通四丁目百六十九番）
（京城南大門外三丁目八十八番）
（京城南大門通四丁目百六十九番）
（京城南大門外三丁目八十八番）
（電話四七七番）
入院隨意
諸般の設備を改善して一般診療に從事す
內科　藤一郎
小兒科部長　安鶴善重
皮膚病花柳病外科部長　田山添喜代藏
產婦人科部長　石田誠
耳鼻咽喉科部長
診療時間毎日自八時至後二時（但日曜大祭日休業）
京城明治町一丁目
電話十二番
漢城病院
京城本町一丁目
販賣元　仁川松尾支店
搾取所　松尾牧場
酒類
韓國一手發賣元
永島商行
京城日の出町一丁目
（電話架設中）
銘酒
釀造元　仁川大森酒場
盛乃松
醫學得業士　盧田耕平
○資力乏しき病者には割引又は施療
南門湯横に病院新築中に付き本月末移轉開院す
梅毒專門
皮膚病一般
痔注射療法（不要入院）
京城南大門朝市場櫻家旅館內
神戸資生院長
出張診察所
電話三百十二番
院長府立大坂病院專攻
元兵庫縣立福原癩梅病院醫長
醫學得業士
南山の風景を目前に眺め浴場の設備あり
待合貸席入船
京城南山町一丁目
電話千百三十五番
統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
伊藤組
本店　京城本町三丁目（電話四〇番）
出張所　同南大門驛構內（電話七三二番）
產婆莊野キヌ
東京產婆學校卒業
龍山十五間道路鐵道官舍十六號一
營業科目
石版銅版
木版彫刻
ロータイプ版
寫眞版
簿機簿
製本裝釘
活字鑄造
活版印刷
日韓印刷株式會社
京城明治町三丁目
電話（三二三番）
東京出張所
東京橫區南鍋町一ノ十
電話新橋（三九六二番）
今日株式會社印刷株式會社ト改稱
日韓印刷株式會社
東京海上運送保險株式會社
明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
京城代辨店　本町四山口吳服店　電話九番
事務所　京城本町二の三電話一〇六〇番
東京火災
ルーロポンプ
ルーロポンプ
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金　參百萬圓
積立及繰越金　九拾萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行
（電話四二〇）
本支店出張所
長崎市藥町
大阪、熊本
京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、鎭南浦、群山、
日本
佐世保、廣島、鹿兒島、
韓國
其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり
一口壹錢以上何程にても御預り申候
（利息日步壹錢四厘）
貯蓄預金
長崎貯蓄銀行代理店
（十八銀行京城支店）
日本郵船株式會社
（電話十番）
汽船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕店
電話二九番
●毎月二十九日午後三時迄
●大連、大沽、牛莊行
●大連、大沽、牛莊行
●大連、大沽、牛莊行
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行